

グループで取り組む「人づくり」「環境」「地域貢献」



① STEM 教育者のための特設 web サイト
「Inspire STEM EDUCATION」

社会貢献活動方針と重点分野

日立ハイテクノロジーズは、基本理念である『あらゆるステークホルダーから「信頼」される企業を目指し、ハイテク・ソリューションによる「価値創造」を基本とした事業活動を通じ、社会の進歩発展に貢献します。併せて、当社は「公正かつ透明」で信頼される経営を行い、成長し続けていくとともに、「環境との調和」を大切に、情熱と誇りを持ち、社会的責任を全うする企業市民として豊かな社会の実現に尽力します』を基本に CSR 活動を推進している。

社会貢献活動においては、「日立グループの全体方針に基づき、社会課題解決のために日立ハイテクらしい社会貢献活動を継続推進し、企業市民としての社会的責任を果たす」という考えのもと、国内外各地で社会貢献活動に取り組んでいる。また、実施に当たっては、「人づくり」「環境」「地域貢献」の3分野を重点分野として活動を推進している。

人づくり分野

子どもたちの理科離れが先進国を中心として社会的な課題として捉えられる中、日立ハイテクグループでは、自社製品である電子顕微鏡を活用した理科教育支援活動を国内外で幅広く実施している。日立ハイテクノロジーズアメリカ会社では、米国のオバマ大統領が提唱する STEM 教育(※)の振興に協力し、卓上顕微鏡「Miniscope®」を用

(株)日立ハイテクノロジーズ CSR 本部
CSR・コーポレートコミュニケーション部
CSR 推進グループ係長 小笠原 誠

いた教育支援活動を行っている。学校や科学館向けイベントへの卓上顕微鏡の貸し出しやデモンストラクションなどを全米で開催するとともに、教育機関で生徒を指導する教員を対象としたセミナーやワークショップを実施している。さらに、STEM 教育用 web サイト(写真①)を立ち上げ、卓上顕微鏡を利用した学習モジュールや教育ツールを提供し、インストラクター間の情報交換やアドバイスなど後方支援のツールとして役立てていただいている。

2012年には、ブラジルの専門技術教育機関である SENAI(全国工業職業訓練機関)が運営する移動教育センター「SENAI ナノムンド(ナノ世界)・トラック」に卓上顕微鏡を納入した。トラックを利用した移動式教育により、より多くの方々に日ごろ接することの少ない最先端テクノロジーによる学習の機会を提供している。

日立ハイテクノロジーズヨーロッパ会社では、ドイツ連邦教育研究省が10年に開始した「ナノトラック」プロジェクトを支援している。それは、実験装置や科学関連の展示品を載せたトレーラーで、ドイツ各地の教育機関や各種団体を訪問し、一般市民向けにナノテクノロジーと日常生活との関わりを紹介するプロジェクトである。同社は卓上顕微鏡を貸し出し、プロジェクト管理者との協力のもと「ナノワールド」の世界を体験できる環境を整え科学教育面での貢献を果たしている(写真②)。

(※) Science, Technology, Engineering, Mathematics (科学、技術、工学、数学)の頭文字をとったもの



②卓上顕微鏡を自ら操作してマイクロ世界を体験

環境分野

日立ハイテクノロジーズ上海会社では、小学生向けの環境出前授業「日立環境課堂」を実施している。「日立環境課堂」は、子どもたちの環境意識の向上と責任感の育成を目的に、中国国内の日立グループ各社が、中国各地で開催しているボランティア活動である。13年11月には、北京オフィスの社員が北京市内の小学校の3年生を対象に、約1時間にわたり環境問題について説明、寸劇を演じ、エコクイズを楽しい雰囲気の中で行った。上海本社でも社員が上海市内の小学校3年生を対象に、同じく出前授業を実施した。上海では寸劇の代わりに子どもたちに手作り顕微鏡の制作を指導し、その顕微鏡で植物標本を観察しながら植物と森林の大切さを考えるという体験型の授業を行った(写真③)。同社は12年からこの活動に参加している。本活動は、子どもたちだけでなく社員にとっても環境問題への理解を深めることができる良い機会となっている。



③環境出前授業「日立環境課堂」参加者

13年10月に香港のCastle Peak近くのHa Pak Lai(下白泥)において開催された「2013日立ビーチクリーンアップデー」には、日立ハイテクノロジーズ香港会社の社員・家族4名が参加した。イベント全体としては香港地域の日立グループ10社の社員とその家族約160名の参加があり、積極的にビーチの清掃に取り組んだ結果、100kgのゴミを収集した(写真④)。本活動はビーチの清掃だけではなく、参加者のエコ意識向上やコミュニティサポートなどの成果もあった。

日立ハイテクノロジーズマレーシア会社では、環境マネジメントシステムISO14001の活動の一環として、マレーシア政府および地域社会と協力して植林活動にボランティア参加している。13年6月には、各種団体からの参加者と共に生態系保

④海浜清掃参加者



⑤熱心に取り組んだ植樹活動

全のための植樹を実施した(写真5)。本活動は単に木を育てるだけでなく、環境にやさしい未来への希望を参加者の中に育むことも目指している。

地域貢献分野

日立ハイテクノロジーズアメリカ会社では、北米地域の日立グループの一員として、ダラス、シカゴ、サンフランシスコの従業員がCAC(Community Action Committee:地域活動委員会)を組織し、地域の社会的課題解決に貢献する活動を行っている。具体的には、十分な食事が取れていない人たちへの食事準備のボランティアや、恵まれない家庭へのプレゼントのラッピングボランティアなどに社員が参加している(写真⑥)。本活動以外にも、海外拠点のグループ会社は、地域ごとの各種イベントへの寄付・協賛、あるいは、学生の企業訪問受入れへの対応などを行い、良き企業市民として社会貢献活動を推進している。■



⑥アメリカのCAC活動

◆株式会社日立ハイテクノロジーズのCSRへの取り組み
<http://www.hitachi-hitech.com/csr/index.html>